

起因物、事故の型：立木等 - 墜落・転落の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	業種小 コード	労 働 者 規 模
1	11~ 12	配達を終え車両に戻る際、歩道から車道に出ようと植木の間を通過する時、木の根に引っ掛かり転倒した。	40	110101	300 ~ 499
1	15~ 16	公道において、LED柱の新設工事中に電線の向きを変更するために隣接する木に登って変えようとしたため足を滑らせて下へ落ち体の左側を強打した。	48	30301	—
1	9~ 10	松の木の剪定作業中に、手又は足を掛けていた枝が折れバランスを崩し、松上約3.5mより芝上に落下した。その際、安全ベルトを着用していたが、作業途中に外れたものと思われる。	69	140301	100 ~ 299
2	10~11	道路維持業務のため、法面で、伐採した根などの片付けをしていたところ、斜面で足を滑らせ木の切り株に左胸をぶつけ骨折した。	63	30199	—
2	14~15	樫の枝下し作業中、ハシゴを2箇所固定し切り下した枝とハシゴに足をかけて、被災者本人より上部にある長さ1m、太さ23cm、重さ約15kgの枝を吊し切りしていた際に、切断後、切り離れた枝が被災者本人の方向に振れたので、避けようとしてバランスを崩して墜落し下部にある支幹に接触した後地面に落ちた。	56	11709	10 ~ 29
2	10~11	木に登って収穫をされていて、足が滑り木から落下し負傷した。	69	60101	—
2	14~15	当社ゴルフ場施設において、枯松の木を一定方向に倒れる様ロープを掛け木を倒すために、高さ約3m位の脚立を使ってロープを掛けようとしたが、脚立の高さが足りず高さ約3m50cm位の所にある枝に足をかけ、高さ	56	140301	—

		約4m50cm位の所にある枝を手で掴んだところ、手足を掛けていた枝が両方同時に折れ、落ちて負傷した。			
2	15~16	皆伐現場で2段集材方式で架線集材を行っていた。1段目の架線で吊り出した集材木を尾根の中継点で降ろしたところ、集材機に絡まったエンドレス束を外すため被災者が、丸太一本で作った盤台に乗って枝を切ったところ、外れたエンドレス束が被災者に当たり、約3m下へ転落した。後頭部に裂傷を受け、出血していたため、布で止血し簡易担架を作って県道まで運搬した。その後、ドクターヘリで病院へ搬送された。	56	60201	1~9
4	10~11	庭の剪定作業において高木に三脚を立て登って剪定作業を行っている時、作業を中断し高木から降りる際に落下し、左脇腹を強打した。	20	60209	1~9
4	12~13	樹上でカラスの巣の撤去作業をしている時に、樹上を移動する為に支障があった為、使用していた安全帯を一時外した際に手を滑らせ、樹上から転落し、腰と肋骨の骨折、肺に穴が開き、肋骨と肺の間に空気が入る怪我を負った。	37	150109	50~99
4	14~15	工場構内緑地で樹に登って剪定作業中、次の枝へ移動しようとした時、足を掛けた枝が折れて約3m位の所から落下した。	74	60101	1~9
4	14~15	広場の端にて反対側は3.6mの土手になっており、フェンスが張られている真下はアスファルト道であった。高圧（低圧）電線にかかっているガジュマルの木の伐採作業中、バケット作業者が使いづらい場所で木に登って手のこを使用し伐採した。大きなガジュマルの木が4本ほど並んでおり、木の枝が上の方で絡んで交差しており、その間を高圧（低圧）電線がかかっている。伐採した後、降りる際に持った木が折れて落下し、頸椎不全損傷および第4~6胸椎骨折を負った。	36	30209	1~9
5	9~10	コンクリート水路沿いで立木の伐採作業中、切断中の立木が作業員側に倒れ、立木と一緒に0.7m下の水路底に転落し、腰を圧迫骨折した。	62	60201	10~29
5	12~	小学校敷地内にて、カラスの巣を撤去するため、2連ハシゴで木に登り安	26	170209	30~

	13	全帯を固定しようとした際に、掴んでいた枝が折れて落下した。			49
5	9~ 10	梅畑で木の上に乗って梅採り作業中に、足元が滑って後ろ向きに落ち、右手首付近を負傷した。	67	60101	1~ 9
6	11~ 12	被災者は、道路脇歩道にて植樹柵の街路樹の剪定作業の途中であった。被災者が木に登り作業をしていた際に、安全帯を掛け替えようとしたところ、バランスを崩してしまい落下し受傷した。	70	30199	10 ~ 29
6	14~ 15	個人邸庭園の樹木維持管理作業において、高さ7m程度の所で樹木を剪定していた際に落下し、落下中に建物の屋根にぶつかり地面に落ち、右脇腹と左手薬指を負傷した。	36	60101	1~ 9
7	13~14	作業道の下側に地拵の時に集積して置いた残木のある場所で、草木があったので、刈払機が届かなく、周りから刈ることができなかつたため集積木の上に上がって下刈作業をしていたところ、足元の木が折れ左足が落ちて、その状態で右回りに後転して負傷した。	26	60201	10 ~ 29
7	9~10	植木の剪定現場で脚立を使用し、剪定作業を行っていた。その際桜の枝をつかんだ時、不意に枝が折れ、バランスを崩し両足から落ちた。	37	60101	1~ 9
7	11~12	樹高4m程のカシの木を樹上にて枝剪定作業中、樹上に移動するため安全帯のフックを一時外して上部の枝を掴んだところ、掴んだ枝が折れて樹上2m弱より腰から芝地に落下した。	38	60101	30 ~ 49
7	10~11	3階から2階へセットした点滴を運んでいた際、階段途中で前のめり状態になって転落。両手が点滴を入れたダンボール箱でふさがっていたため踊り場へ頭からつまむような形で転落し、着地した時左足をひねって受傷した。	58	60101	10 ~ 29
7	9~10	庭で剪定作業中、高さ5m位ある木（デツリンジン）の3m辺りのところに登っていた。直径10cm程の枝に乗ったところ、その枝が折れ、3m下へ落下した。（枝は葉が茂っていたため、外見からは気付かなかったが、半分程枯れていた。）下へ落ちた際、庭石で胸部を打ち肋骨を折り、肺挫傷を負った。	38	30199	1~ 9

7	15～ 16	先達発電所施設上流にある取水工排砂門に流木が掛かっているため除去する工事で、準備作業のため排砂門上屋（幅3.0m長7.0m高さ4.80m）でバックホーの作業状況を監視しているとき、被災者が流木の絡み状態が気になり単独で上屋ステップ鉄筋φ19mm幅0.3mの14段を安全帯2丁掛けを使用しながら降りたところ、堰堤天端部60cm位のところで流木の枝があり、これに右足、左足で上がり体勢を替えるため左足を上げたところで右足が流木の上で滑り腰から落ちて受傷した。2丁掛安全帯の片方はステップ（下から3段目）にフックに掛けていた状態であった。	41	30199	10 ～ 29
7	16～ 17	モチの木の剪定中、脚立で作業後、安全ベルトを外し、枝に移動したところ枝が折れ庭石の上に落下し、右足首を骨折した。（約4m）	44	30199	1～ 9
7	9～ 10	土手の竹を伐採作業中に、切った竹が倒れかかって来たので、右手で竹を持ち、左手でチェーンソーを持っていたときに体のバランスを崩し、左手に持っていたチェーンソーが左足に当たって負傷した。	68	30199	1～ 9
9	6～7	現場山林で運搬丸太積込作業中にワイヤロープをかける際に小雨が降っており、又、丸太の皮が剥がれやすい状況でもあり、足場としていた丸太の上から滑り落ちたもの。	50	40301	10 ～ 29
9	9～ 10	個人邸樹木維持管理において、シイの木の剪定作業中、安全帯を括りつけた枝が折れ一緒に約3m程の高さから落下、頭部と胸部を負傷する。	40	60101	1～ 9
9	10～ 11	いちじくの木に登って収穫作業中、約2mの高さから誤って足を滑らせて地面に転落した。その際、背中から落ち、後頭部と頸部、腰部を強打した。	70	60101	10 ～ 29
9	14～ 15	作業中に被災者が木に登って上部を剪定しようと、高さ約2m50cmの枝へ左手を掛け、左足を掛けたところ、枝が折れ被災者が落下、下にあった植木に右胸を打ち付け負傷したものである。	71	60101	1～ 9
9	13～ 14	当社置き場内にあるマキの木上部を枝打ちしようと約2mの脚立より高さ約3mの枝に右足を掛け、体重をかけたところ、枝が折れ被災者がそのまま落下し下にあった直径約80cmの丸い石に右腰部分を打ち骨折したものの。安全帯は、他の枝に掛けてあったが、いっしょに折れたものである。	55	60101	1～ 9

9	14～ 15	498.2KW太陽光発電設備のメンテナンス業務として、樹木の枝打ち作業でハシゴ上部にて枝打ち作業中に、移動しようとして手で枝を持って移動しようとした所、枝が折れてバランスを崩して転落した。	48	30203	1～ 9
9	15～ 16	斜面に立つ高さ15m位の杉をクレーンを使って伐採する為、杉の枝を切断していた、その途中に身体を落下防止策（安全帯の確認不足）を行っていたにもかかわらず、地上7～8mのところから落下し、右手と胸部などを負傷した。	43	60201	10 ～ 29
9	16～ 17	樹木の剪定作業中、カシの生け垣（枝が細く安全帯がつけられない）に登って剪定中、足を滑らし約4m下の地面に落下し、足等を打ち負傷した。	63	30199	1～ 9
9	10～ 11	山で伐採作業中に伐採した杉の木の2又の木の枝を切りはなすために2m位の高さで木の枝を切った時に、枝が落ちた振動で足がすべって体のバランスをくずして、先に落ちていた木の丸太に背中から転落したため、肋骨を骨折した。	62	60201	1～ 9
10	16～ 17	敷地内植木剪定作業中、約2.5mの高さで足を滑らせ落下、右肩・背中を強打。	69	120109	10 ～ 29
10	16～ 17	個人邸の樹木維持管理作業において、高さ4mのイチヨウの枝下ろしをしようとしてハシゴをかけて登り、枝をつかんで、乗り込もうとした時、枝が枯れていたため折れ、そのまま高さ2.5m程から転落し、左肩、左脇腹・腰を負傷する。	55	60101	1～ 9
10	9～ 10	高等学校剪定工事の桜の剪定作業を行っていた際、脚立を木にかけ、登り、木の一番下の枝に手をかけたら、枝が枯れていた為根元から折れ、校門の門に転落し、背中から強打したもの。一部木に足をかけた1.5m程度の高さでの作業。	69	30199	1～ 9
10	9～ 10	民間の家の庭の剪定作業で、4m程の木の上で作業中落下し、ブロック塀に右横腹を強打。	35	60101	1～ 9

10	10~ 11	市営住宅の高木剪定中に、枯枝を踏んでしまい、枝が折れたため、高さ4~5mのところから落下した。木の傍に高さ2mくらいのフェンスがあり、落下途中にこのフェンスに当たり、歩道に落ちた。	37	30309	1~ 9
10	14~ 15	山の崖上にて伐採中、落下する可能性のあるすべりやすい傾斜地で、落下防止のため持っていた杖が折れ転落した。	41	170209	10 ~ 29
11	9~ 10	駐車場整備工事作業所内、鉄骨荷降ろしヤード内で積載トレーラー前方の鉄骨ブレース角材（D-175×175L=3530、1本200~250kg程度）を約10本束ねて荷降ろしする際、積載トレーラーの荷台に付いている角パイプに接していた為、被災者が角材にて揺らしたところ、左端ブレースが弾いて手元に接触して負傷した。	66	140301	30 ~ 49
11	10~ 11	駅構内の石垣の上（高さ1.7m）の木の枝の切り落とし作業中、石垣の上から切れ残った枝を引っ張っていたところ、枝が折れた反動でバランスを崩し高さ1.7mの通路に転落着地した際に、右足踵に痛みを感じたため直ちに救急手配を行い病院へ搬送された。	34	40101	10 ~ 29
12	11~12	委託先マンション敷地の高木剪定中（ロープおよび高枝バサミ使用）、場にしていた高木の枝の分かれ目からバランスをくずして落下し、右肩および上腕を強打し打撲した。	70	60101	10 ~ 29
12	8~9	宅地整備工事の準備工として、現場内の高さ約3mにある木の枝の伐採作業中、伐採した枝が隣接地との境界を越えると思い、敷地内に落下させるためロープを投げて掛けようとしたが、上手く掛からず、やむを得ず途中まで登ろうとして枯れた枝をつかみ、枝が折れて背中から落下した。その際、落下した場所に木の切り株があり、骨盤と背骨を圧迫骨折した。	59	30109	1~ 9
12	6~7	コース4番ホールグリーン周りで剪定作業中、脚立に乗って作業していたとき、先端に少し手が届かなかったため、片方の足を脚立からはずして枝にかけたところ、枝が折れ、そのはずみで脚立も倒れたため、地上2m付近より落下し、腰および背中を強打した。	52	140301	50 ~ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)